

たむら

第8号 平成28年12月22日



2016年 中名田小学校「今年の漢字」

毎年 年末になると、その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が発表されます。今年は「金」という字に決まったそうです。今年のリオデジャネイロオリンピックでの金メダルラッシュ、東京都知事の資金問題、PPAPの金の衣裳などがその理由だそうです。また、「今年の漢字」は公募で決まるそうなので、みんなが「今年の漢字」に対して「共通とまでは行かなくてもほぼ同じ思い」を持っているということです。



さて、ここで一年を締めくくるにあたり、今年の中名田小学校の「今年の漢字」は何であろうかと考えてみました。今年一年、子ども達や職員は、どんなふうに学校の様子を受け止め、どんな思いをもっていたのでしょうか。幸せを表す字・嬉しさを表す字で終われるか、それともマイナスイメージを表す字・苦しさや悲しさを表す字で終わるのか、校長としては自己反省を促される怖いことでもあります。2016年 中名田小学校 今年の漢字」を決めることにしました。

初めての試みでしたので、今年は職員に今年の学校全体の雰囲気を表していると思われる漢字の一つずつ挙げてもらい、それを児童に提示して、自分が共感できる漢字2つに投票してもらいました。

その結果、決まった「2016年 中名田小学校 今年の漢字」は「笑(えみ)」でした。理由は、今年は欠席する人が少なく、みんなの笑顔が見られたからです。

私もこれまでの学校だよりの中で、欠席0の日がたくさんあることをしばしばご紹介しましたが、これは当たり前のことのようではなかなか大変なことです。体の健康だけではなく、心も健康でなければ為し得ないことなのです。また、しんどい学習や長い距離を歩いてくることから、逃げたくなる日はあるものです。つまり、精神力も必要だと言うことです。更に、いやなこと・つらいことが多くても休みたくなるでしょう。子どもたちが「学校に来るのが楽しい・来て良かった」と思える学校生活を送れること、私たち教師がそれを提供できることが、何よりも大事です。ここで改めて、「今年の漢字」として、みんな笑顔で毎日学校に来ることができた幸せを共有し、それを評価しあえたことを嬉しく感じます。

笑

また、この評価は家庭と共に為し得た評価であるということも忘れてはいけないと思っております。毎日、子ども達の健康や安全に留意し、心を受け止め、困ったときには支え、励まし、子どもたちが安心して学校に行くことができるようにして下さる家庭があるからこそ、欠席0が成り立っているのだと思っております。

「中名田小学校 今年の漢字」が、「笑(えみ)」というステキな漢字(感じ)で終わったことを感謝して、2016年しめくくりの学校だよりといたします。

今年1年ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

この頃ちょっとうれしい子ども達のこと ベスト7

- ベスト1 欠席者0の日が2学期終業式までに94日もあったこと。ちなみに昨年の12月までの欠席者0の日数は34日間でした。「笑」で終わって、とても嬉しいです(^o^)
- ベスト2 人権集会で、4・5年生中心に車いすバスケットボールに取り組んで、障害者スポーツへの理解が広がったこと。チームの方々の生き生きした姿、輝いていました。
- ベスト3 2・3年生が小堂食品さんにお世話になって、豆腐づくりにチャレンジ! そのときの豆乳で、全校児童にも豆乳ゼリーをごちそうしてくれました。おいしかった〜
- ベスト4 読書週間の取組で図書委員ががんばってくれたこと。本をたくさん読んだ人への表彰者プレゼントだった「ブックカバーを使った手作りペーパーバッグ」はすてきでした。
- ベスト5 1年生が遠隔授業システムを利用して、宮川小学校とテレビ会議で交流をしたこと。さすがこれから生きる子どもたち!
- ベスト6 6年生が目標達成お祝い会を開催したこと。小学校生活はあと少し。小さな目標を少しずつ積み上げて、仲間とそれをたたえ合い、力をつけて中学校に行ってね!
- ベスト7 3学期のなわとび大会を目指して、どの学年も練習に熱が入ってきたこと。目指せ、持久とび10分間継続!



読書週間の図書委員紙しばい読み聞かせ



人権集会 車いすバスケット体験



ゲストティーチャーによる体育の授業



2,3年生の豆腐づくり体験

小堂さんご指導ありがとうございます



校医 古森歯科のDrによる歯の授業



読書週間 先生方による読み聞かせ

畑で「命を育む」ことも 大きな教育活動です



PTA 奉仕作業でつくっていただいた獣害防止柵のおかげで、冬野菜も順調に大きくなっています。学校では、ただ食べるために栽培活動をするのではなく、理科や道徳・総合的学習等の関連で栽培活動を行っています。

自然の仕組みを学ぶと同時に、「命を育む・命をいただく」その流れを体験し、それに係る人との交流や、自然や生き物に愛情と理解と感謝の気持ちを育てるのも、学校の教育活動の一つです。PTAの皆様と自然に感謝いたします。